

《研究課題名》

尿管瘤、異所性尿管の臨床的検討

《研究対象者》

2000年6月から2025年9月30日の期間中に滋賀医科大学附属病院泌尿器科に入院し、手術を受けた患者のうち、尿管瘤、異所性尿管と診断された患者

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究課題名》

尿管瘤、異所性尿管の臨床的検討

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2026年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 泌尿器科 上仁数義

(2) 研究の意義、目的について

《意義》

尿管瘤、異所性尿管は、尿管瘤、異所性尿管は尿管末端の先天異常で尿路拡張による尿路停滞のため、重症尿路感染症や下部尿路症状(尿失禁、排尿困難)を引き起こすことがあり、その場合は外科的介入が必要になります。2000人に1-4人程度の稀な疾患であり、2000年から2023年までに滋賀医科大学泌尿器科で尿管瘤/尿管異所開口43例の患者さまに手術を行いました。緊急性がある場合は、経皮的腎瘻造設や経尿道的尿管瘤開窓術で尿路のドレナージを行います。緊急性がない場合、患側腎機能や病態によって摘除もしくは形成術などの外科的介入を行っています。膀胱出口部の異常から術後も排尿障害が持続することがあるため腎機能および排尿機能の長期にわたるフォローが必要です。これらの治療成績を評価することで、診断や治療方法を改良することで更なる良質な医療を提供できると思われれます。

《目的》

当院で尿管瘤や異所性尿管の外科的治療を受けられた方の手術成績や術後の経過、合併症を検討することで尿管瘤や異所性尿管の治療方法を評価します。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

対象患者さまのカルテより必要な情報を入手し検討を行います。

《利用する情報の項目》

患者背景（性別、年齢、既往歴）、現病歴、病変の詳細、手術介入の内容（術式、手術時間、入院期間、術後経過）、術後経過（尿路感染、尿路拡張、下部尿路症状）、慢性腎疾患の有無などの情報を利用します。研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

《情報の管理について責任を有する者》

所属：泌尿器科 氏名：上仁数義

（４）個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 泌尿器科 上仁数義

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2273

メールアドレス：hquro@belle.shiga-med.ac.jp